特別研究Ⅰ（Graduation Research Work Ⅰ）

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
高崎 昭彦、柴田 英治、千原 猛 星野 真理、森 啓至、小菅 優子、杉浦 諭 山口 央輝、榎本 喜彦、大島 茂 澤田 浩秀、伊藤 康宏、井上 孝	１年次 後 期	必修	2	48	演習		巻末掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	特別研究Ⅰでは、各領域における専任教員が、それぞれの研究分野における専門性の高い研究や臨床上の課題などをテーマとし、研究の基礎的能力の構築に係る学修を行う。基礎的能力とは、研究の企画立案、実験方法の確立、データ解析、考察、プレゼンテーション力であり、発展的に国内のみならず広く国際的視野からグローバルな情報を積極的に取り入れて高度な臨床検査技術者、教育者、研究者となる礎を築くものである。 課題に対するフィードバック方法／解析結果のレポートなどについて、担当教員が責任を持って解釈・解説をし、課題とその結果に対する考え方を共有する。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。」及び③「健康に対する社会的ニーズを認識するとともに、グローバルな視野を持ち、科学的根拠に基づき、自ら考え、判断し、課題解決に向けて対応することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1.各自が関心を持つ課題について、国内外の論文検索ができる。 2.各自が関心を持つ課題について、研究計画を立案できる。 3.各自が関心を持つ課題について、実験方法、データ解析およびその考察ができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	第1回～第24回事前学習：事前に計画されている単元について予習を行っておく／シラバスに記載された内容を調べておくこと。（各30分） 第1回～第24回事後学習：研究内容の疑問や結果の解析で不明な点は、担当教員に質問するなどして明確にするよう努める／文献や担当教員から配布された資料で復習を行うこと。（各30分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位15回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位15回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。　詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第1回～第5回	関心を持つ課題の現状や要因を分析する。	担当教員
	第6回～第10回	関心を持つ領域の文献・論文を抄読、精査し、研究課題を明確にする。	担当教員
	第11回～第15回	研究倫理を熟知した上で研究の企画立案、実験方法の確立、分析方法の検討を行う。	担当教員
	第16回～第20回	研究倫理審査書類の作成、試薬や実験材料の手配、収集を行う。	担当教員
	第21回～第24回	データの収集、考察、必要に応じて研究計画の見直しを行う。	担当教員

評価方法 評価基準	課題に対するレポート（60%）、プレゼンテーションの内容（40%）で評価する。		
教科書	教科書は特に指定しない。	参考書等	参考文献等は適宜、紹介する。
学生への メッセージ	特別研究Ⅰは修士論文をまとめるための研究の基礎能力を高めるために行う。実験・実習以外にも必要があればフィールドワークなどを取入れる。担当教員とよく相談のこと。		